

2020年度
学校自己評価報告書

日本プリンテイングアカデミー
学校自己評価委員会

■ 2020年度学校自己評価について

日本プリンティングアカデミーは、「印刷関連産業に的を定めた専門教育・研究機関」「次世代を担う経営・営業・技術者育成のための専門教育・研究機関」として1978年4月に開校された印刷関連企業の成長を支援する唯一の学校法人・専門学校です。印刷関連業界に支えられ、創立43年目。国内・海外を含めて、関連業界に約1000名以上の人財を排出し、約700名の卒業生が現役として活躍しています。

日本プリンティングアカデミーでは「企業で役立ち、企業発展の原動力となる実践的人財育成」を目指し、印刷情報産業の発展に貢献するために、印刷メディアの価値とデジタルメディアの有機的融合の検証の場として、人財育成と研究機関を両輪に社会に通じる経営・マーケティング・クリエイティブ・生産技術を総合的にバランス良く身に付け、実業革新と社会的価値向上に貢献できる人財育成を教育方針として運営しています。

平成20年度に学校教育法施行規則が改正となり、専修学校においても自己評価の実施および公開が義務化されたことをふまえ、日本プリンティングアカデミーも学校自己評価を実施・公開を行い、業界各所からのご意見をいただき PDCA の実施を行い、さらなる教育の質の向上に取り組んでいます。

1. 対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日

○委員会開催

第1回 2020年 3月12日（木）14:00～18:00

第2回 2020年 10月5日（月）15:00～18:00

第3回 2021年 3月22日（月）14:00～18:00

2. 実施方法

（1）実施組織：学校自己評価委員会

委員長：花井秀勝（理事長） 委員：曹于鉉（学校長）

委員：石原智子（事務局長） 委員：中村竜（事務局）

（2）評価基準

文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠。

(3) 評価方法

学生アンケート、教職員自己評価、各学科及び部門の自己評価を実施、自己評価委員会を開催し、学校自己評価に取り纏め。

3. 評価の項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

(1) 次の4段階で点数評価しました。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(2) それぞれの評価項目のうち評価3以下のものについての状況と課題、対策について報告いたします。

1. 教育理念・目標

No	設問	評価点
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④・3・2・1
2	専門分野における職業教育の特色は明確か	④・3・2・1
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④・3・2・1
4	学校の理念・目的・育成人材像・職業教育の特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4・③・2・1
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④・3・2・1

【2020年度の現状と今後の改善策】

4. 本校の教育理念は、ホームページ・学校案内に掲載しているが、募集要項やその他の広報関係の資料にもURL等を明示する必要がある、またオープンキャンパス・学校説明会でも学生・保護者・業界関係者等へのさらなる周知拡大を図る必要がある。
- 本年度は特にコロナウイルスの影響を受けオンライン化の対応等様々な問題が発生したが周知拡大は諦めずに少しずつ行いたい。

2. 学校運営

No	設問	評価点
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④・3・2・1
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4・③・2・1
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④・3・2・1
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	④・3・2・1
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④・3・2・1
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4・③・2・1
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④・3・2・1
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4・③・2・1

【2020年度の現状と今後の改善策】

2. 事業計画は、学校方針を定める寄付行為と学則に基づいて計画され、理事・評議員の議決を受け実施されており、これらが各部門で実施されているが、各担当がPDCAを意識した問題点の改善や次年度の参考になる資料作りなど責任をもって施行していく必要がある。
6. コンプライアンス体制の整備として、教職員間に学内・外部研修の実施をするなど職員の意識向上を図っていく必要がある。また、今年度はコロナウイルスの影響により研修のオンライン化も考慮する必要がある。
8. 業務効率化を目的にシステム化を進めてファイルサーバ（NAS）を設置しているがファイルの整理整頓やファイル名の基本的なルール化やネットワークのセキュリティの強化、IPアドレスの管理、パスワードの更新など効率化及びセキュリティを意識し今後も計画的に進める必要がある。

3. 教育活動

No	設問	評価点
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④・3・2・1
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④・3・2・1
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④・3・2・1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4・③・2・1
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4・③・2・1
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4・③・2・1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	④・3・2・1
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④・3・2・1
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④・3・2・1
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4・③・2・1
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4・③・2・1
12	業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4・③・2・1
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための取り組みが行われているか	④・3・2・1
14	教職員の指導力育成や能力開発など資質向上を目指した研修等が行われているか	④・3・2・1

【2020年度の現状と今後の改善策】

4. 昨今のコロナ禍により企業見学等が中止や延期になり、学内でのポートフォリオ作成やワークショップを実施した、今後はオンラインでの企業見学やインターンシップを具現化する必要がある。

5. 定期的に企業・関係施設等や業界団体等からヒアリングを行い現状の検証、問題点の検討を行い、改善している。特に最新技術については、理論と演習を盛り込んだ実践的教育をしていく必要がある。
6. 今年度はコロナ禍の影響により従来のインターンシップが実現しにくい状況であった、今後はオンラインによる、インターンシップや実習も検討し産学連携を行う必要がある。
10. 専任講師による各資格を取り扱う業界団体での委員就任など指導體制は確保し、資格取得に向けたカリキュラムの導入を行った。しかしながら学生個々の問題や授業回数の問題などがあり、なかなか結果に結びつかない、今後はできるだけ分かりやすく学生個々に合わせ授業回数を増やし取り組む必要がある。
11. 教育理念・方針に合わせた授業、業界標準・最先端の実習実施を目標に常に教員確保を実施しているが、勉強会や研修を更に行い個々の知識向上を行う必要がある。
12. 企業・関係施設等や業界団体等と連携を行い現場で活躍している実践的な講師の確保を行なっているが、さらに現場に強い講師の獲得を行い常に高レベルで実践的な教育を目指す必要がある。

4. 学修成果

No	設問	評価点
1	就職率の向上が図られているか	④・3・2・1
2	資格取得率の向上が図られているか	4・③・2・1
3	退学率の低減が図られているか	④・3・2・1
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④・3・2・1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④・3・2・1

【2020年度の現状と今後の改善策】

2. 専任講師による各資格を取り扱う業界団体での委員就任など指導体制は確保しているが、学生の資質やレベルに合わせた資格取得指導の策定が必要である。また今年度はコロナ禍で試験自体が中止・延期になりCBT（インターネット）形式の試験を考慮する必要がある。

5. 学生支援

No	設問	評価点
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④・3・2・1
2	学生相談に関する体制は整備されているか	④・3・2・1
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④・3・2・1
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・3・2・1
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④・3・2・1
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4・③・2・1
7	保護者と適切に連携しているか	4・③・2・1
8	卒業生への支援体制はあるか	④・3・2・1
9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4・③・2・1

【2020年度の現状と今後の改善策】

6. 定期的に担当教員が学生とのヒアリングを行い問題があれば支援をしている、また今年度はオンライン講義も頻繁に行われたため学生のWIFI環境やIT機器などにバラツキがありIT環境の更なる支援を行う必要がある。
7. 保護者が日本にいない留学生に対しては現地の保護者とオンラインでのコミュニケーションや授業の閲覧など積極的に行う必要がある。
9. 関係企業・施設等や業界団体等からの支援もあり、業界標準の設備を設置しているが、常に最新の充実した教育環境を目指した設備確保を引き続き行う。また管理やメンテナンスを定期的に行い、いつでも安定した品質で設備が稼働出来るようにする。

6. 教育環境

No	設問	評価点
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④・3・2・1
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4・③・2・1
3	防災に対する体制は整備されているか	④・3・2・1

【2020年度の現状と今後の改善策】

2. 学外実習やインターンシップの教育体制は、関係企業・施設等や業界団体等からの支援もあり整っているが、昨今のコロナ禍の影響からインターンシップおよび海外研修は今後オンライン化も出来るように見直しをする必要がある。

7. 学生受入れ募集

No	設問	評価点
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
3	学納金は妥当なものとなっているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

【2020年度の現状と今後の改善策】

1. これまで、関係企業・施設等や業界団体等からの紹介において学生確保を行ってきたが、2018年度より広く一般学生募集を開始。WEB・パンフレットの刷新を行っていたが昨今のコロナ禍の影響を受け、重点的に力を入れてきた関東各地への高校訪問が実施できていない、今後はWEB等の広告媒体や広告代理店と連携し柔軟に募集をする必要がある
2. 2019年度にカリキュラムを抜本から見直し再設計を行いシラバスの再構築を行った。今後は新カリキュラムの成果をWEBや学校案内などの募集活動で伝えていく必要がある。

8. 財務

No	設問	評価点
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
4	財務情報公開の体制整備はできているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

【2020年度の現状と今後の改善策】

- 1・2. 学生数が微増ではあるが、昨年同様学生の絶対数が少ないためによる収益減が財務基盤の不安要素である。引き続き人件費の改善や経費節減に努めるとともに、コロナ禍にも対応出来る戦略的な年間募集計画を作成する。また、中長期計画においても抜本的な見直しが必要である。

9. 法令等の遵守

No	設問	評価点
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④・3・2・1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4・③・2・1
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4・③・2・1
4	自己評価結果を公開しているか	④・3・2・1

【2020年度の現状と今後の改善策】

2. 法人で定めている個人情報管理規程にて管理を実施しているが、さらに周知徹底に努める必要がある。また国で推奨しているIPAの「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」を参考にルール化を進める必要がある。
3. 自己評価の問題点には常に取り組めるようにはなってきているが、直ぐに解決できない問題は長期・中期の計画の中で少しずつPDCAを生かしながら改善していく必要がある。

10. 社会貢献・地域貢献

No	設問	評価点
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ・ 3 ・ ② ・ 1
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ・ 3 ・ ② ・ 1
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1

【2020年度の現状と今後の改善策】

1. 少数の職員及び学生で地域貢献・社会貢献で出来ることは非常に限定的である。当校の教育資源は印刷なので、「体調チェックノート」や「感染防止ポスター」等でコロナ禍に対応した印刷物を作成し貢献していきたい。
2. 学生数の減少、留学生の対応とボランティア活動の奨励、支援が困難な状況。今後は1でも述べたように、少人数でも参加可能でボランティア活動に参加できる支援を行う。
3. 以前は、学園祭などの行事を通じ一般参加の公開講座や職種体験訓練を行っていたが、学生数の減少や今年度はコロナの影響により困難な状況が続いている。今後は、少人数でもオンライン等を活用して貢献していきたい。